



# 大凧便り



第236号

大凧会館HP <https://higashioomi-j.com/oodakokaikan/>

プログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

毎月第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、家族でお越し下さい

成人式！東近江大凧揚げ記念イベント！

二新春凧揚げ大会二



新しい年を迎え、早くも1ヶ月が過ぎようとしていますね。お正月はゆっくり過ごせましたでしょうか？

さて、1月11日(日)は、東近江市の成人式でした。昨年と同様に新成人を祝う「祝新成人 20畳敷東近江大凧揚げ」に合わせて、「新春凧揚げ大会」を聖徳中学校グラウンドで開催する予定でしたが、【強風注意報発令】により中止となりました。【中止のお知らせ】を知らずに来場される方もおられるだろうと、来場された方には特典である『みかんプレゼント』『無料凧作り教室』『豚汁振る舞い』を行おう！と東近江大凧保存会と共に準備を進め、聖徳中学校へ出発しました。

20畳敷東近江大凧は、式典が行われる八日市文化芸術会館の正面玄関に展示させていただき、新成人をお出迎えしました。今年の凧のはんじもんは、午(うま)年にちなんで上部に午の張り子を描き、下部に「輝」の文字、背景に「ありの」と書かれた「てぬぐい」が描かれています。併せて、『ありのまま(馬馬) 輝け』という意味になり、生まれながらに持つ自分らしさを大切にして、各方面で輝いてほしいという新成人へ向けた力強いメッセージが込められています。

強風でしたが天気は良かったので、想像以上の来場者があり、少しバタバタしてしまいました。用意していた特典があつという間に全て無くなる賑わいで、13時頃に終了させていただきました。3連休の中で、11日だけが強風注意報で『昨日やったら揚げられたのになあ。』と保存会も会館職員も残念な気持ちでしたが、寒い中たくさんの方にご来場いただき、たくさんのお子様とふれあうことができ、とても楽しい時間となりました。寒い中ご来場いただき、ありがとうございました。

来年はいい天気で凧揚げできますように！！と今から願っておきます。

編集・発行 世界凧博物館東近江大凧会館 令和8年1月20日発行

〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3番5号

TEL: 0748-23-0081 FAX: 0748-23-1860

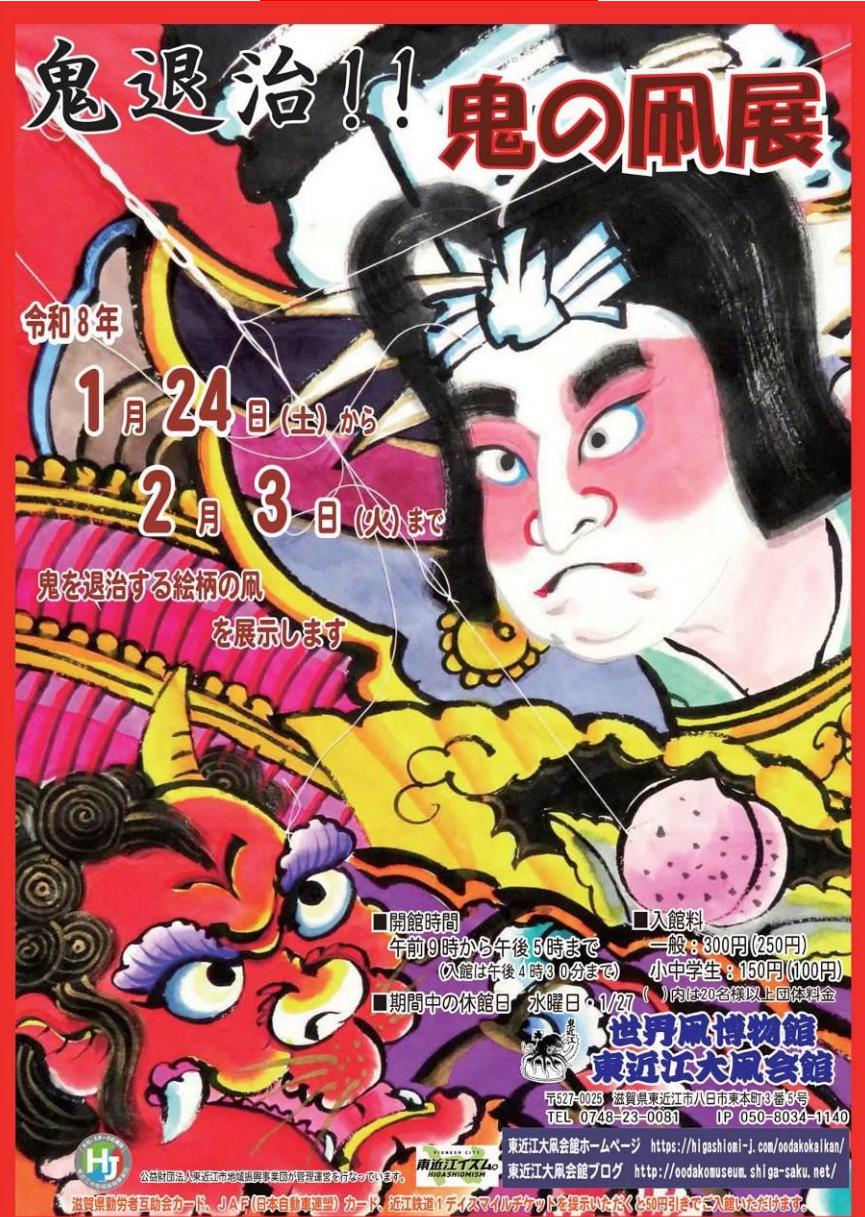
IP: 050-8034-1140

開館時間：9時～17時 休館日：水曜日、第4火曜日、祝日の翌日

平成18年度から指定管理者制度により（公財）東近江市地域振興事業団が管理しています。



鬼退治！！鬼の凧展



2月3日は「節分」です。節分の行事といえば、「豆まき」と「恵方巻を無言で食べる」ことですね。「鬼は外、福は内」と言いいながら豆をまきました。また今年の恵方は「南南東やや南」だそうです。今年1年の邪気を追い払い、無病息災をお祈りください。

さて、東近江大凧会館では令和8年1月24日から2月3日まで、日本各地の鬼の絵が描かれた凧を展示する恒例の「鬼の凧展」を実施いたします。京都の大江山で源頼光(みなもとのらいこう)が鬼を退治する絵柄の6畳の凧(京都府)や、涙を流す紅白の房が印象的な「鬼ようす」(山口県見島)、鬼が武者の兜に噛みついた鬼伝説を描いた長崎県壱岐地方の「鬼凧」(長崎県)、鬼が兜を咥えている絵柄の「バラモン」(長崎県)等を展示しています。

見応えの有る大きな凧バックに記念撮影もしていただけます。ご来館お待ちしております。

・開催期間 1月24日(土)から2月3日(火)まで

・開館時間 午前9時から午後5時まで

(ただし、入館は午後4時30分まで)

・期間中の休館日 水曜日 1月27日

・入館料 一般: 300円 小・中学生: 150円



## 二新春恒例！午の張り子絵付け教室＝



あけましておめでとうございます！新年を迎えると同時に年を取る臼田です。2025年が終わってしまったことがまだ信じられません。2026年こそは新しいことを初めて私生活を充実させたいです。（毎年同じ目標を掲げているような気がしますが…）

さて、大凧会館 2026 年最初の体験教室は、恒例の「干支張り子の絵付け」体験教室でした。2021 年の丑年（赤ベこの絵付け）からはじまり、6 年目になります！今年の張り子は去年に引きつづき春日部張り子を使用しました。用意したものは真っ白な張り子なため、どんなデザインにしたいか考えながら、まずは鉛筆で下書きを取っていきます。鞍の部分はなるべく左右対称になるよう型紙を用意しました。その後、不透明アクリル絵具で仕上げていきます。春日部張り子の基本のデザインだと色を重ねて塗る部分が多くあり、限られた時間の中では順番を意識しなければいけません。それを踏まえて思い通りのものを作るにはどうしたらしいのか、皆さん頭を使いながら黙々と集中して取り組まれていたのが印象的でした。今回の体験教室では基本的な色以外は混色しなければいけませんでしたが、パステル調の紫色や好みの茶色（難易度高め）に挑戦されている方も見受けられました。最後は完成した張り子を手に各々写真撮影をされ、満足度の高さがうかがえました！

来年以降も張り子の絵付け教室は開催予定なので、今からでも十二支コンプリートを目指してみてはいかがでしょうか？

## 近江のまつりフォーラム写真展

滋賀県には、長い歴史の中で育まれてきた素晴らしいお祭りがたくさんありますよね。そんな『近江のまつり』の魅力を凝縮した写真展が、1月22日から滋賀県庁で開催されます。

期間 令和8年1月22日（木）～2月3日（火）

9:00～17:00

会場 滋賀県庁 本館1階県民サロン

内容 県内7か所で執り行われるまつりについて、写真パネルや展示品等を用いて紹介し、各まつりの魅力を発信します。

【まつり一覧】①大津祭②日吉山王祭③長浜曳山まつり④左義長まつり⑤篠田の花火⑥八幡祭り⑦東近江大凧まつり

## 2026年2月の予定＝

3日（火）まで 鬼退治！！鬼の凧展

9日（月） 八日市北小学校4年生 見学と凧作り

14日（土）～4月5日（日） 福よせ雛

15日（日） 家族ふれあいサンデー

21日（土） わくわくコラボ村参加

2月休館日：2/4・2/12・2/18・2/24・2/25

## 二親子凧作り教室＝午（ウマ）の凧を作ろう～



昨日 12月 20日（土）に「自分の描いた午の凧を空へ揚げよう！」という合言葉のもと、9人の皆さんが参加されました。

作業はまず、3種類の「午」の下絵から好きなものを選ぶところからスタート。六角形の和紙に丁寧に絵を写し、色を塗っていきます。

色が乾いたら、今度は骨組みとなる竹の出番です。接着剤を塗り、慎重に紙に貼り合わせ、竹が重なる部分を糸でしっかりと結んでいきます。最後に、凧を反らせるための糸、そして空で安定させる「しっぽ」を取り付ければ…世界に一つ、自分だけの「午の凧」の完成です！

親子で力を合わせて作り上げた凧、きっと揚げる時の喜びも格別だったでしょうね。



## 二ウキウキ！ワクワク！東近江ミュージアム＝



1月 31 日（土）普段はそれの場所にある博物館が、今日はお買い物ついでに楽しめる場所である東近江市のショッピングプラザ アピア 1階セントラルコートに大集合します。その名も、『ウキウキ！ワクワク！東近江ミュージアム』！

例えば、ガリ版で自分だけのマイバッグを作ったり、お正月にぴったりの『おさんぽカイト』作り、さらには昔の道具に触れたり、探検気分でスゴロクに挑戦したりと、7つのブースで特別な体験ができます。参加費は無料のものから、材料費のみの100円、1,000円と、気軽に参加できるものばかりです。

さらに！近江商人博物館のゆるキャラ『てんちゃん』も遊びに来てくれますよ。午前 11 時 45 分からはステージにも登場します。

ワークショップを3つ回ると、素敵なミュージアムグッズがもらえるスタンプラリーも実施されますので、ぜひご家族で『東近江の文化』に触れて、作って、楽しんでみてください。

『ウキウキ！ワクワク！東近江ミュージアム』は、1月 31 日（土）アピア 1階で、午前は 10 時から、午後は 1 時から開催です。

週末はぜひ、アピアへ遊びに行ってみてくださいね！



## 二2月14日から始まる『福よせ雛』＝



皆さん、雛人形と聞いて、何を想像しますか？きっと、金屏風の前でおすましして座っている姿ですよね。

ところが大凧会館に集まるお雛様たちは、そんな常識を、文字通り『空高く』吹き飛ばしてしまっているんです！

私たちが開催しているのは、令和8年2月14日から始まる『福よせ雛（ふくよせひな）』です。

実はこのお雛様たち、もともとは各ご家庭で大切に飾られていたものですが、飾る機会が減ってしまったものをお預かりし、新しい命を吹き込んだものなんです。

『人の役に立ててほしい』という持ち主の方々の願いを受け継いで、ただ飾るだけでなく、今の時代を楽しく生きるお雛様として再デビューさせています。いわば、お雛様のセカンドライフですね。



今回、館内にはなんと 500 体もの『福よせ雛』が登場しますが、その姿が、本当にユニークなんです！オーケストラを組んで楽器を演奏している団もいれば、真剣な表情で百人一首に興じているグループもいます。中には、東近江らしく『凧揚げ』に夢中になっているお雛様までいるんですよ。

『え、こんなところで！？』と驚くような、館内のあちこちに隠れるように現れる彼らを探しているうちに、大人も子どもも、気づけばみんな笑顔になってしまいます。まさに、笑う門には福来たる、です。

みなさん、ぜひお越しください。